

三陸新報

三陸新報社
〒988-0141
気仙沼市松崎柳沢228-100
電話 0226(22)6700代
FAX 0226(23)6100
URL <http://www.sanrikushimpo.co.jp/>
e-mail news@sanrikushimpo.co.jp
© 三陸新報社 2020年

購読・配達は
ペーパータイム
TEL 0226-24-5566
0120-100-450
本吉営業所
TEL 0226-31-4756

果たそう
復興

飲食店 再開広がる

気仙沼市 客足戻らず我慢の営業

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、県内に含まれていた政府の緊急事態宣言が解除されたことを受けて、気仙沼市内の飲食店で営業再開の動きが広がっている。解除後、最初の週末となった16、17日は、市外からの人の流れが一部で見られたが、「本来の客足には程遠い」と話す店がほとんど。感染予防策を徹底しながらの「我慢」の営業が続く。



営業を本格化させた市内の飲食店

市内の飲食店では、大型連休明けの7日に県の休業要請が解除されたことに伴い、一部の店で早速営業を再開する動きが見られた。政府の緊急事態宣言が解除された先週末には、テイクアウト販売が中心だった日中に加えて、夜も店を開けるところが目立った。南町紫神社前商店街では、テナントに入居する飲食店やスナックなど計27店舗のうち、16日までに2店舗を除いて営業を再開。内湾

周辺の店舗を含めて、常連客の姿が少しずつ戻ってきている。ある飲食店によると、この週末は、観光客と思われる人の来店がこれまでより増えたが、客足は「本来のこの時期の週末に比べれば少ない」。持ち帰りや希望する人も多く、感染のリスクを少しでも減らそうという来店者が多いという。同商店街の坂本正人事務局長は「客足が回復するまでは相当時間がかかるだろう。何と

夏の観光シーズンまでにコロナが終息し、気仙沼を訪れる人たちが増えてくれるといいのだが」と気をもむ。営業を再開した店では、店内の至る所に客用の消毒液を設置したり、座席の間隔を空けたりするなど、感染予防策に余念がない。

18日から、約1カ月ぶりに夜の部の営業を再開した神山の「福幸酒場 おだつまっこ」では、来店者に店舗入り口で手指消毒の協力と呼び掛けているほか、店内4カ所に空気中のウイルスを除去できる次亜塩素酸水入り

ないようにしている。3月は送別会など団体客のキャンセルが相次ぎ、4月も新型コロナウイルスの外出自粛で営業で

きたのはわずか5日間だけ。テイクアウトを始めたものの、売り上げは前年同期の3割ほどまで落ち込んだ。千葉文隆店長(45)は「まずは再開できただけでも良かった。お客さんに少しでも安心して来店してもらえよう、われわれも万全の予防策でお迎えしたい」と話している。

早速親子がテニス 運動施設も利用再開

新型コロナウイルスの影響で中止されていた気仙沼市内の体育施設の利用が、18日から再開された。利用は、2時間以内の練習のみ(大会での利用不可)で、県内の団体に限定。3密の回避、大声で発声しないことなどの制限がある。屋内の利用人数は市総合体育館「ケー・ウェーブ」が40人程度、このほかが20人程度までとしている。小中高生の団体利用はできないが、親子、祖父母と孫など家族のレクリエーションの場は認められる。トレーニングルーム、共用スペースの利用は引き続き中止される。

早急の対応を要する

業は20日から本格化。早ければ、28日から1週間程度で完了する

給までの目安は申請してから、10日から2週間程度

